

地域協働開発委員会

担当副理事長	前田	健吾
担当室長	名村	孝史
委員長	谷口	翼
副委員長	上村	健太
副委員長	新家	敬史

《基本方針》

魅力的な地域資源が数多くあるMAK地域では、昨年の新幹線開業に伴い社会意識や環境の変化によって、市民の地域に対する関心が高まり、まちの活性化が加速し新たな地域資源の創出や発掘が行われつつあります。我々はこの勢いを継続させるべく、各諸団体や市民サポーターとの協働で新たな視点を加え、一つの組織では解決しえなかった問題にアプローチできる持続可能な地域の実現を目指す必要があります。

まずは、新幹線開業で機運が高まったMAK地域で今まで以上に魅力を発信するために、各世代の地域住民が魅力を体感できるようなまちづくり事業を行うことで、一人ひとりに地域資源への愛着が生まれるとともに郷土愛が育まれます。そして、各諸団体や行政、市民サポーターとの相互協力を持続可能にするために、それぞれがもつ柔軟なアイデアや知見を掛け合わせることで、我々が展開する運動に今後も意欲的に参画したくなるような連携する関係を生み出します。さらに、地域活性化の担い手となりうる人財を開発するために、我々の理念とビジョンが共有できる機会を提供することで、一人ひとりが能動的に活動意欲向上を図れる環境を整備します。

MAK・JCが展開する運動に様々な世代の方を巻き込み、それぞれの強みを活かした補強し合える関係性の構築がMAK地域の成長には必要であり、我々が中心となって各諸団体や地域住民とをつなげ、笑顔の花が咲き誇る60周年に向けた明るい豊かな社会を実現します。

《運営方針》

1. 七夕送り火事業(55周年記念事業)を実施します。
2. 市民サポーターの開発を実施します。
3. 市民サポーターへの連絡、周知、交流会を実施します。

《事業計画》

1. 七夕送り火事業(7月)
2. 市民サポーターの開発(通年)

《事業予算》

1. 七夕送り(仮) (7月事業)	700,000円
合 計	700,000円